



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和4年6月23日発

第16号



○ PTA奉仕作業

6月18日(土)、PTA奉仕作業が行われました。作業内容は、溝の泥上げ、エアコンのフィルター掃除、草むしりでした。保護者の皆様のおかげで、とてもきれいになりました。エアコンは、20日(月)から使っています。とても快適な環境で授業を進めることができます。ご協力、ありがとうございました。

25日(土)にご参加の保護者の方には、お世話になりますが、よろしくお願ひします。



○ 前期指導主事訪問

6月21日(火)、前期指導主事訪問がありました。指導主事訪問というのは、先生方の授業を教育委員会の指導主事の先生に参観していただき、いろいろとアドバイスを受けるもので、前期と後期の年に2回行われます。授業のあったクラスは、いつもと違う雰囲気、緊張したことと思いますが、どのクラスも落ち着いており、発表も頑張っていました。

【2年2組】 道徳科 『絵がすき 海がすき』 個性の伸長

自分の良さを生かして、有名なマンガ『サザエさん』の作者になった長谷川町子さんの姿を知ること、自分の良さを大切にしようとする心情を育てようとするものです。事前アンケートで、自分には良いところがあると思う児童が16人、ないと思う児童が9人でした。自分の良さや強みを知って、自信をもってほしいと思います。



【3年2組】 道徳科 『あと、ひと言』 善悪の判断、自律、自由と責任

危険な冒険ごっこに誘われた主人公が、その誘いを断って帰宅したところ、冒険ごっこをした友達が大けがをしたことを母親から聞かされ、断ったことをほめられたものの、「少し足りなかったわね。」と言われました。主人公に足りなかった「あと、ひと言」は何でしょうか。普段の生活で、友達に「あと、ひと言」を言えるでしょうか。



【4年1組】 道徳科 『雨のバス停留場で』 規則の尊重

強い雨の中、バス停の近くのたばこ屋さんの軒下でバスを待つ人が雨宿りをしており、主人公と母親も軒下に入りました。バスが来たのを見て、主人公がわれ先にと停留場の先頭に並び、バスに乗ろうとしたところ、母親が引っ張って、列の後ろに連れもどしたために席に座ることができませんでした。バスの中では、母親が何だかいつもとは違う厳しい様子そのままでした。主人公の良くなかったことは、何だったのでしょうか。



【5年1組】 道徳科 『電池が切れるまで』 生命の尊さ

11歳で亡くなった女の子が、死の4か月前に書いた詩『命』に込められた思いや願いを通して、人間の死の重さや限りある生命を懸命に生きることの尊さに気づき、生命を尊重する心情や態度を育てることをねらいとしています。命を大切にすることは、どういうことでしょうか。とても重い内容です。命のある限り、命を大切に、精一杯生きたいものです。



【6年1組】 道徳科 『のりづけられた詩』 正直、誠実

詩を書くことが得意な主人公が友達に良い顔をしたために、他人の詩の一部を使って作品を作りました。友達には「さすが」と褒められるものの、胸が締め付けられる思いがします。「どうしてあんなことをしてしまったのだろう。」文集ができあがり、みんなに配られる前に、思い切って先生に打ち明けたところ、文集には主人公の別の詩がのり付けされ、配られました。自分だったら正直に言いますか。



【ひまわり学級】 道徳科 『心にふく風』 礼儀

ホテルの日本料理店で接客をしている主人公。お客さんに失礼がないように、気持ちよく過ごしてもらえるように働いています。ところが、お客さんの中には、知り合いでもないのに、主人公の心の中に、北風を送る人や南風を送る人がいます。北風を送る人と南風を送る人の違いは、いったい何なのでしょう。心を伝える形には、どのようなものがあるのでしょうか。



○ 校内絵画コンクール

奉仕作業の日に、ご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、素晴らしい作品が中ホールに展示されています。

